

● 浮穴の動き ●

	令和7年 1月1日現在	令和6年 1月1日現在
人口	9,250人	9,286人
世帯数	3,843戸	3,821戸



受賞おめでとうございます

福祉活動に貢献された方々が表彰されました。(敬称略・順不同)

優良民生委員・児童委員 伊賀上滋人
地域福祉活動功労者 重松 良基
民生委員児童委員功労 小原 和代
永年勤続民生児童委員 安川 幸代
永年勤続民生児童委員 玉井 澄子
永年勤続民生児童委員 高市 誠
全国永年勤続民生児童委員 豊島 泰三

百歳バンザイ!

南高井町 野中 リキ子さん
安川 佐喜子さん
森松町 好永 五十鈴さん
井門町 花山 タズ子さん

順不同

福祉体験学習

浮穴小学校 教諭 藤田 智子

本校では、総合的な学習の時間に第四学年の児童が福祉について学習をしています。今年度も、浮穴地区社会福祉協議会や地域包括支援センターの方々にお世話になり、福祉体験学習を行いました。

まず、児童は「住みよい街づくり」のために、生活の中での便利、不便について調べ学習をした中から、以下の五つの体験を行いました。

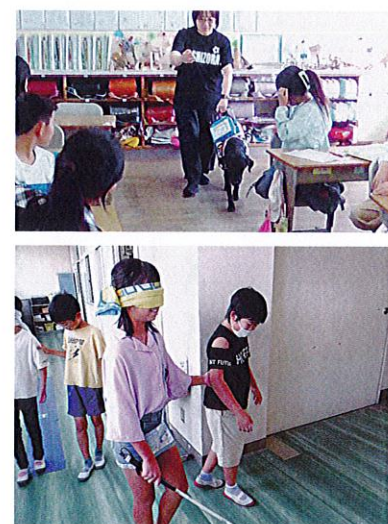


認知症サポーター養成講座では、認知症の症状や接し方を学習し、認知症役の教師に対しての声かけ体験を行いました。初めは戸惑っていた児童も、相手の目を見てゆっくりと話しかけることができました。この研修を受講し、児童は認知症キッズサポーターとして、認知症の人を支えていきたいという思いをもちました。また、認知症啓発活動「オレンジガーデニングプロジェクト」に参加するため、オレンジ色の折り紙で花の飾りを作り、松山市社会福祉協議会に届けました。

車椅子体験では、二人一組で段差やスロープの道を移動するときの介助体験を行いました。狭い道や障害物があると進みにくいことを実感していました。

盲導犬体験では、ユーザーの方に普段困っていることを質問しました。盲導犬が英語の指示で歩く姿を見て、その賢さに驚いていました。

ガイドヘルプ体験では、アイマスクをして目が見えない役とガイド役になり、階段の上り下りをしました。歩き



慣れた道も、見えないと一歩を踏み出すのが怖く、目の不自由な方の気持ちを知ると同時に、誘導してくれるパートナーの大切さを学ぶことができました。

手話体験では、耳が聞こえない生活の中での工夫について話を聞きました。コミュニケーションの方法として、まずは簡単な手話を学びました。挨拶や名前の手話を覚えて、手話に興味をもつ児童も見受けられました。

「福祉」とは、「ふ」普段の「く」くらしの「し」幸せのことです。障がいとは、人にあるのではなく、生活環境にあります。周りの人が少し支援をすることで、皆が幸せに生活することができ、児童は、この福祉体験を通して、体験したからこそ分かる学びが得られました。自分には何ができるのか、何をしたらよいのかなど、相手の立場に立つて物事を考えるよい機会となりました。



頭の体操

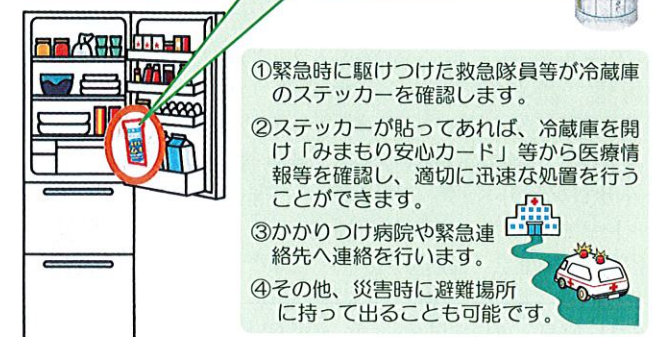
右の絵と左の絵
ちよつと違うよ！
ち力所あるけど…
わかるかな？

安心カードみまもり支援事業

高齢者や障がいがある方等の安全・安心を確保するため「緊急連絡先」や「かかりつけの病院」などを記入した「みまもり安心カード」を「持病薬の説明書」などとともに、「安心キット」に入れ、冷蔵庫に保管することにより、緊急時に迅速・的確な救命・救助活動につながります。

お問い合わせは
浮穴地区民生委員まで

「みまもり安心カード」と「持病薬の説明書」「被保険者証」等のコピーをプラスチック容器（キット）の中に入れて冷蔵庫で保管します。



- ①緊急時に駆けつけた救急隊員等が冷蔵庫のステッカーを確認します。
- ②ステッカーが貼ってあれば、冷蔵庫を開け「みまもり安心カード」等から医療情報等を確認し、適切に迅速な処置を行うことができます。
- ③かかりつけ病院や緊急連絡先へ連絡を行います。
- ④その他、災害時に避難場所へ持って出ること可能です。



松山市地域包括支援センター石井・浮穴・久谷
サブセンター 浮穴 久谷

お気軽にご相談ください

- 施設に入りたいので、相談にのってほしい。
- 金銭管理が難しいので、相談にのってほしい。
- 言葉による虐待や身体虐待、お金を取られる経済的な虐待を受けている。
- 悪質な訪問販売にあったしまった。



お問い合わせ ☎089-905-8889
松山市東方町甲1272番地1

気をつけよう! 火災報知機の電池切れ!!

令和6年度共同募金

戸別募金	1,055,900円	} 合計募金額	1,519,900円
大口募金	464,000円		

「赤い羽根共同募金運動」に際しまして、多額のご寄付を賜り心より感謝申し上げます。
お寄せいただきました寄付金は、一部が地域に還元され福祉に関する活動に活用させていただきます。ご協力ありがとうございました。

浮穴では、小・中学校・高齢者・防災・交通安全などの活動援助や成人式の助成、見守り活動のほか福祉に関する学習などの費用として大切に活用させていただいており、これらの活動は、「福祉だより」にて報告・お知らせをしております。

共同募金は「じぶんの町を良くするしくみ」として役立っています。皆さまのまごころを引き続きご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

浮穴地区の【大口募金千円以上】をご寄付いただいた企業・個人名を掲載いたします。
(順不同・敬称略)

浮穴地区共同募金会 会長 相原正治



オフィスタチバナ 社会福祉法人和光会職員一同 (株)戒田商事 森田光一 相原正治
慶応幼稚園 愛媛標板 生長の家愛媛県教化部 (株)ヤマウチ(デイサービスえん)
産業開発 浮穴地区民生児童委員協議会

佐々木乾二 松山市農業協同組合浮穴支所 浮穴地区連絡協議会 (株)相原組 (株)五印
宇宙商事 玉井産業 いちろう歯科クリニック ルナ物産(株) 玉井外科整形外科 (株)愛橋
南高井病院 重信川パブリックパーク 重松剛 (株)よんやく 相原歯科医院 (株)華桔梗
夢じゃき園UKENA (株)シンニチ松山支店 いまいりウマチ・リハビリテーション 好永郁夫
(株)相原自動車商会 長山医院 相原印刷

橋本製作所 立花祐二 しらかた内科クリニック はなやまペットクリニック (有)楠岡鉄筋工業所 もりまつ内科 浮穴診療所
森原歯科医院 にしたに眼科クリニック (株)タダノ (有)デルタ 日見機械商会 垣本商事 長浜産業 四国建設コンサルタント
南商事(株)愛媛営業所 西林寺前歯科 ていれぎデンタルクリニック 村田農場 (株)薄墨羊羹 aotori いとう小児科
(株)ゆずりは (有)森松交通

(有)山陽商会 武政自動車 カーサポート立花 倉田自動車 愛媛県自家用自動車協会 明星クリニック ヘアーサロンたかし
 神田屋クリーニング店 森松宅建(株) (株)相原庭園 永井フォーメーション 阿部和孝 みよ美容室 宮内自動車販売
 武市武志 浮穴女性防火クラブ こはらだいすけ接骨院 桃太郎 新栄食品 アーク開発 渡部製菓 (株)カンセイ
 (有)タケダ電子 食彩工房 (有)ヒロワークス 雅珈 himari タマタニ

愛媛シールド工業 立花自動車AM(有) 作業着のワールド 立花真弓 タチバナ自動車 いいお歯科医院 新崎住宅設備
ビッグウッド松山南店 (株)椿食品 白石千信 はる薬局 平野屋食堂 愛媛県トラック協会 愛媛県第四物流協同組合
アイアール電子工業 愛媛県トラック運送事業協同組合 愛媛県貨物運送事業協同組合 四国交通共済協同組合
(有)新星 松井建設 上浮穴産業 花山ハウス農園 ホンダドリーム松山南インター ローソン松山サンパーク前店
岩城電機商会 ヴィーヴル村上 (有)小原鉄筋工業 泉田書店 豊島泰三 旭置理容 (有)ワタナベクリーン 共同部品
重見和子 愛媛新聞森松店 河原長夫 小原辰宣 野村すみ子 森田博子 谷口自動車商会 丹生谷哲夫 瓢月
ペットサロンホットドッグ 中川功一 吉村征子 小原真一 浜満ヒサ子 好光千代子 玉井聰祐 アンティープ(大野)
オートマルシェ(株) 新光石油(株) 松山市農協高井出張所 (有)カミジ電設 (有)岩本義肢 四国運輸
楠田自動車商会 四国メディア ユウコウ金物 マルブン ラ・ブランシュ・ド・ラ・エ 祇園 (有)せとうち通商
安川武志 藤井三恵 ALLEZ GARAGE くるま工房 南高井保育園 (株)光心堂 河本達也
日々コレ好日 高市昌宏 庭工房伊賀上 林正直 川本総合建設 URURA Lukka 渡部由利子
Bamboo (株)宝栄 HAKUデンタルクリニック セブンイレブン松山井門店 ビューティ吉岡 森田朝江
渡部伸治 あすなろ保育園 高橋俊夫 (有)四国トラベル (株)アクア 相原圭一 ロシナンテ (株)姫装
林モータース 西浦設計 ミニヨン 木藤茂 グループホームすみれの里 三栄電設 成商運輸(有) 武井浩



赤い羽根共同募金



飼い主としての準備

浮穴地区自主防災組織連合会
ペット防災管理士
児玉万緒

私は、父が防災士として浮穴の自主防災組織で活動している姿をみて、防災について興味を持ち防災士の資格を取得。その後、ペット防災管理士、防災介助士を取得しました。ペット防災とは、災害時にペットを安全に守り、スムーズに避難・支援できるよう準備することです。近年、ペットの認識や役割などが大きく変化を見せています。ペットは単なる動物ではなく、家族の一員として扱われ、飼い主の心の支えとしての役割も注目されています。一方でこれからの課題として挙げられるのは、避難の際のペットの居場所についてです。災害時や緊急時におけるペットの扱いについてはまだ十分に整備されていない場合が多いです。大半の避難所では衛生面やアレルギーなど様々な問題を抱えており、ペットの受け入れが困難で、飼い主がペットを連れて避難できない（同行避難ができない）場合、ペットを置き去りにせざるを得ず、そのまま年月が過ぎてしまうような状況が発生することがあります。これに対し、行政や地域コミュニティは、ペット同伴の避難所や一時的な預かり施設の整備を進める必要があります。また、ペット防災における知識や準備の重要性も再認識されています。飼い主自身が災害時に必要なペット用の避難グッズや備蓄品を整え、



ペットがストレスなく避難できるような対策を講じることが求められています。また、それだけではなく、避難の際にはゲージに入ること強いられることが多いため、ゲージに普段から慣れておくことも飼い主の重要な役目です。今後の支援としてペットの健康管理や避難訓練、さらにペットと共に過ごすための心理的ケアなど多面的なアプローチが必要です。ペットは、ただの「動物」ではなく、心の繋がりを深める存在です。そのため、災害時にもペットが健康で快適に過ごせる環境を整備することが大切です。

防災介助士とは、災害時に支援が必要な方に対して避難の際や生活の中で支援を行う中心となる人のことを言います。災害時には、物理的な危険だけでなく、心理的なストレスや混乱も大きいため、身体的な支援だけでなく、心のケアも重要な役目です。しかし、自主防災組織だけに任せておけばいいわけではありません。普段から、地域行事に積極的に参加しておくことで、支援が必要な方々とのコミュニティを形成しておく必要があります。私はこれからも地域の防災をメインに携わっていきたいと考えています。そして住民一人一人が災害に備える意識を高め、安全な環境づくりに貢献したいと思っています。今後も防災教育や支援体制の強化を通じて、地域の防災力向上に尽力していきます。



令和6年11月4日、浮穴小学校体育館にて第45回浮穴地区高齢クラブ・スポーツ大会が、5年ぶりに行われました。「慌てず、走らず、怪我無い大会」をモットーに、誰でもできる競技を揃え、笑いも交え、みんなで楽しく参加しました。

